



リハビリテーションだより 7月号

～自宅内の環境調整について～

病気や怪我により、今までの住宅環境では動作が行いにくくなったり、安全に行えないことがあります。今月はリハビリテーション職種の視点から
自宅内の環境調整(手すり)について解説していきます！

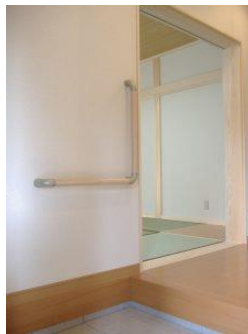
環境調整とは・・・

自分で動作し易いように、テーブルやベッドなどの家具の高さ・向きを変えたり、
住宅改修や福祉用具を導入したりして自宅環境を本人に合わせて調整する事を
言います。

環境面の問題として、**住宅環境と身体機能のミスマッチ**があります。

【ミスマッチのー

足腰の力に弱さがあるために段差の上り下りにふらつきがあるが、
捕まるところがなく、転倒しそうになっている。



図のように手すりを取り付けることで**住宅環境と身体機能の**
ミスマッチを防ぎ、転倒予防を図ることが出来ます。

【自宅環境調整で福祉用具(手すり)を使用する一例】

● トイレ



便座からの立ち上がりを容易にするために据え置き式の手すりを設置する。

● 廊下



伝い歩きをしやすいするために突っ張り棒式の手すりを設置する。

環境調整はご自身の身体機能にあった調整を行うことが重要です。

上の写真の様に福祉用具を導入したり、必要に応じて住宅改修を行うことでご自身にあった環境に調整することが出来ます。また、家具の位置を変更するだけでも伝い歩きを行いやすくするなど、環境一つで動作が大きく変わることも多々あります。住宅環境と身体機能のミスマッチをなくすことで安全な在宅生活を送ることが出来ます。

自宅環境についてご相談がある方は、リハビリスタッフにお気軽にお問い合わせください。